

情報連絡員報告を中心とした

## 県内の中小企業動向

平成26年9月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要  
【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。

〔「好転(上昇、増加)」〕、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数)

## ↪ 前 月 比

- ➡製造業では、売上高において「増加した」業種は1から7に増加。「減少した」業種は13から7に減少。
- ➡非製造業では、売上高において「増加した」業種は8から10に増加。「減少した」業種は12から7に減少。
- ➡業界の景況では、「好転した」業種は1から2に増加。「悪化した」業種は11から9に減少。

## ↪ 前年同月比

- ➡製造業では、売上高において「増加した」業種は2から5に増加。「減少した」業種は10から8に減少。
- ➡非製造業では、売上高において「増加した」業種は6から8に増加。「減少した」業種は12から8に減少。
- ➡業界の景況では、「好転した」業種は3から5に増加。「悪化した」業種は13のまま変化なし。

## 製造業

## 漬物製造

【県内全域】

急な円安で原料が値上げとなる。

## 豆腐製造

【県内全域】

大豆高騰に加え業界が希望する品種・銘柄を買い付けることが困難な状況に追い込まれている。

## 酒類製造

【県内全域】

出荷数量の前年割れが止まらず、上昇気運もなし。資材・燃料の上昇が続いており、経営環境悪化。

## 製材

【県内全域】

相変わらず売上が少ない。

## 製材

【木更津】

9月は南用材が一隻入港。ロシア材、米材は入港なし。南用材の在庫は増加。ロシア材、米材は在庫減少。

## 印刷

【県内全域】

売上は8月と比較して増加した模様。稼働日数の自然増は勿論、3月中の駆け込み需要の予想以上の反動が漸く解消に向かい、何とか増加に転じたようだ。但し、顧客の業種によっては需要不足・天候不順等も重なり未だに回復せず、9月も忙しい会社と芳しくない会社があり、まだら模様の状況。特に地方の状況が悪化し続け、改善はまだ先。

## 電気鍍金

【県内全域】

9月は、前年比平均で9%増であったが、二極化の傾向があり、本格的な好景気の到来はまだであるとの見方をしている。消費税率の改正時には、好景気の到来は夏過ぎかと期待していたが、このまま年末を迎えることになるのかと危惧している。

## 鉄工

【千葉】

売上(受注)が伸びない中で、収益環境は悪化傾向にあることから、各社の景況感は悪化とする企業が多くなっている。

## 機械部品製造

【野田】

一部を除き受注減の状況で、明るい兆しなし。全般に操業度低下の状況。材料の高騰等の価格転嫁が出来ず、厳しい状況が見受けられる。

## 機械部品製造

【流山】

業種により違いがある模様。全体的に平行から若干上向きの様子。

## 機械部品製造

【柏】

業種によりまだらだが、全体的には良くない。自動車は景気が戻らず、半導体一部在庫調整等、上期より売上予測20%程度減少。

## 金属製品製造

【船橋】

全体的な景況は上向いているよ

うに思われるが、収益の好転までは直接結びついていない。

## 【採石】

### 【県内全域】

9月には出荷が前月より半減するなど依然厳しい状況。10月以降に東京港新海面の地震対策事業の発注が見込まれるものの、燃料費の値上げやダンブ、ガット船などの輸送手段の縮小による影響が大きい。横浜港等スーパー港湾等の整備と羽田空港の一層のハブ化を図るための第5滑走路の建設を期待。東京オリンピック施設建設のための岸壁整備は来年度になる予定。

## 【土砂採取】

### 【県内全域】

前月と大きな変化はなく、全国的に低調。一部地区によつては売上高の増加、販売価格の上昇及び在庫数量の減少傾向のところがある。また、公共関連で山砂の需要が伸びているところもある。全般的には引き続き、経営環境は非常に厳しい状況にある。

## 非製造業

### 【総合卸売】

#### 【千葉県・東京都】

【日用品】デング熱の発生により、例年であれば販売が終了する防虫スプレー等の受注が急増。メーカーでも生産終了しており、品薄の状態。【漬物製造卸】異常気象が続

いており、葉物野菜の価格高止まり。北海道産白菜の品質低下。加えて御嶽山の噴火により長野県産白菜の入荷も減少。

## 【食肉卸売】

### 【千葉市】

依然としてと畜頭数の減少が続いている。豚の病気によりと畜頭数の減少が続く高値で推移。

## 【建築材料卸売】

### 【県内全域】

千葉県内は、下期回復の期待が裏切られ、年間見通しが暗くなってきた。4月以降セメント全国出荷前年比98、関東97に対し、千葉前年比92と落ちこぼれている。埼玉前年比105であり、首都圏での格差歴然。全国的にも最も低迷している県といえる。人手不足や資材の問題ではなく新規物件がないことによるため根が深い。

## 【自動車解体】

### 【県内全域】

スクラップ価格が前月より上昇したが、月末に小幅下落。新車販売は対前年割れしているが、円安もあり部品輸出は底堅い。

## 【電気機器小売】

### 【県内全域】

未だに消費税の影響を受けている。9月には回復すると思っていたが甘かった。このままだと当分の間回復は見込めない、お先真っ暗と言う状態である。4Kテレビ

に動きがあり、有料でNHKで放送が始まるが、この景気では販売に期待が持てない。

## 【青果小売】

### 【千葉市】

野菜の相場は相変わらず高値止まりとなり、秋果実の入荷が増えたにもかかわらず、消費者は出費を抑えるため、果物まで予算がまわらない傾向となり、品物は動かない状態となっている。資金面もかなり厳しい状況となっている。

## 【中古車仕入・販売】

### 【県内全域】

新車販売の低迷によるタマ不足は依然続いている。全体的に市場は停滞ムードで厳しい状況。輸出業は円安もあり好調で推移。相場の下落に歯止めに働いている。

## 【小売】

### 【東金】

9月はようやく前年並みになった。ファッション、買回り品がまだ今一步の感がある。食品関係は、値上がり傾向。日用品関連は動きが鈍い。消費税の影響で買い控え……。総体的には、消費が弱い。

## 【小売】

### 【野田】

少し高くても良い商品を購入したいと言う年配者が増えているので、特徴ある品揃えや販売方法などで努力している。

## 【小売・サービス】

### 【柏】

全体では8月が良くなかった分、9月に入り幾分売り上げでは安堵感があるが、収益面では昨対比決して良くなっていない。

## 【建設揚重】

### 【県内全域】

稼働状況は160%に近く安定している。

## 【遊覧船】

### 【鴨川】

海況が安定していたおかげで前年より欠航回数が少なく乗船人員が前年比8.7ポイント上昇した。

## 【一般廃棄物処理】

### 【千葉】

9月は昨年同月同様。安定した良い結果となった。

## 【ソフトウエア】

### 【県内全域】

昨期よりも好転していると思う。

## 【建設】

### 【県内全域】

当組合加入組合員の9月受注額は、17,716百万円と前年同月比27.5%の大幅増加となったものの、今期(4~9月)累計では、受注高58,505百万円と前年同時期を約10%下回っている。8月対比では11組合中、8組合が受注額増加と回復基調が見受けられる。

## 【輸出入】

### 【県内全域】

9月の売上他は前月比変わらず、前年同月比も変わらない状況であった。